

# 校長室だより



令和3年10月11日

No.19

街がすっかり秋の色に染まってきました。日の暮れるのもだいぶ早くなってきましたね。誰がスイッチを入れるわけでもないのですが、確実に季節は巡ってくるものです。これで私も生まれてから何回目の秋を…考えたらちょっと頭痛が…。

先週10月8日(金)が前期終業式。そしてきょう、10月11日(月)が後期始業式。間に土、日の2日間はさんでいるだけで、「前期」・「後期」、そして、始業式・終業式というのは子どもたちには少しわかりにくいかなと思います。横浜市の規則としては2期制の場合、前期は4月1日から10月の第2月曜日まで、後期は第2月曜日の翌日から(第2火曜日って言えばいいのに…)翌年の3月31日までとなっています。これではもっと前期・後期の区切りがややこしくなってしまうですね。また、今年はこの第2月曜日がどうなるか遅くまで決まらなかった(私のカレンダーではきょうはまだ祝日になっています)またややこしい状態でした。以前はこの前期・後期の間に一週間くらい「秋休み」っていうのがあった時代もありましたが、今はその制度はなくなっています。

ともあれ、先週で前期が終了。そして、きょうから新たな気持ちで後期がスタートです。終業式、始業式はコロナ対策でリモート画面を通しての形で行いました。終業式の校長の話の中で「学校の一年の半分が終わったので4月からきょうまでを振り返ってみましょう」とお話をしました。どんなことでも途中で立ち止まって振り返ってみることは大切です。ここまではどうだったかな?目標通り、計画通りにできているかな?うまくいかなかったことは何だろう?よくできたことは何だろう?…と、それまでの道のりを振り返って考えてみて、それじゃあ、あと半分をどうやって行こうか?目標や作戦を修正した方がいいかな?…と、これからの見通しをたてるという、とても有意義な機会になると思います。サッカーなどのスポーツでハーフタイムがあるのも、休憩の意味だけではなく、途中で振り返りや修正をするという意味もあるのではないかと思います(自己解釈ですが…)。

さて、子どもたちはここまでどうだったでしょうか?目標通りかな?ちょっと足りなかった、いや、オーバーした?それぞれで振り返って、またきょうから目標と夢に向かって楽しく学校生活を送ってほしいものです。もちろん、学校としても、私校長としても、この時期に振り返り、振り返った結果を意識して後期に改善を組み入れながら、子どもたちにとってよりよい学びの場を作っていきたいと思います。

前期終業式ではもうひとつ素敵なニュースを発表しました。高等部3年生が美術の時間に力を合わせて作成した共同作品「つながる不思議な形」が高校生国際美術展において、佳作に入賞しました。テレビの画面を通してですが、全校の皆さんに披露させていただき、表彰状を代表の生徒さんに渡しました。さすが、本郷の最高学年の先輩たちです。日頃の学習のがんばりを表彰していただいたのは嬉しいことです。

栄光の受賞作品

